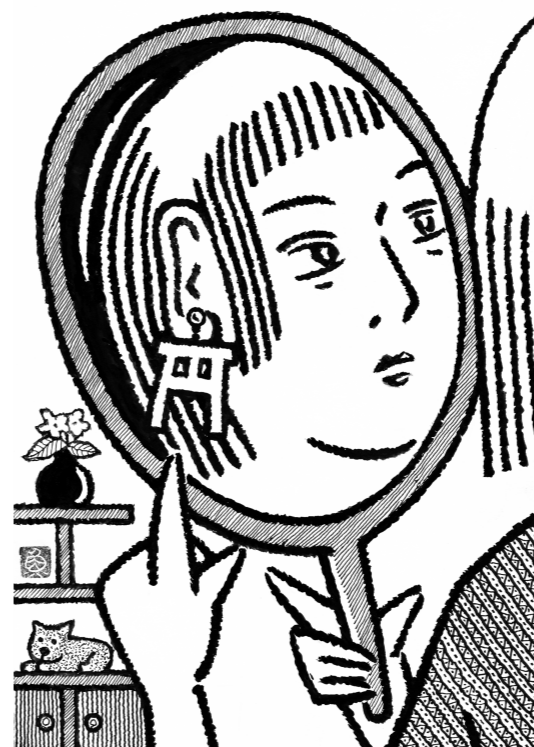


# 耳守神社「みみつちよ様」

小美玉市

小美玉市には、全国でも珍しい耳の病に靈験があるといわれている耳守神社があります。

この神社の由来は、平安時代末期まで遡ります。むかし、小美玉市栗又四ヶ(旧玉里村)に平国香の直孫・第三代常陸大掾繁盛の五男・五郎左衛門兼忠(後の飯塚氏)が家族で暮らしていました。五郎左衛門兼忠の娘の千代姫は、七歳になっても耳が聞こえませんでした。両親は思案の末、熊野の神様に断食をしながら願をかけたところ、満願を迎えた日の朝、娘の耳が聞こえるようになりました。それどころか、その聴力は周りの人が驚くほどに優れていました。



それから時は流れて、姫が三十三歳の時、病に倒れてしまいます。千代姫は、自分の病気が治らないことを悟ると「自分が死んだ後に社を建ててください。そこで耳の病から里の人々を守りたいのです」と言い残し、息を引きとりました。両親は、遺言どおり姫の愛用した鏡をご神体とし、社を建て「耳守」と名付け神事を行い、代々飯塚家が継承してきました。しかし、十六世紀末に大掾家、飯塚家は共に滅び、神社も無くなり祭祀も途絶えてしまいました。その後、地元の人たちによって再建され、現在に続いており、毎年十二月第一日曜日(命日)には祭礼も行われています。祀られている千代姫は、地元では「みみつちよ様」と呼ばれ、多くの人々の信仰を集めています。また、耳守神社には「耳がよく通るように」と、竹筒の両端に紐を通したものが奉納されており、全国的に見ても非常に珍しく、県内外から参拝者や見学者が訪れるそうです。

※掲載事項には、諸説あります。



お出かけの際には、周囲の状況等に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社**

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

いきいき茨城ゆめ国体2019  を応援しております。